

岩礁破碎の見解 官邸で根回し?

水産庁判断6日前関係幹部集まる

【東京】6日の参院外交防衛委員会で藤田幸久氏(民進)が、名護市辺野古の新基地建設を巡り、防衛省が岩礁破碎等許可の再申請を不要とする判断を示す6日前の3月8日、首相官邸に關係省庁の幹部が集まったことを取り上げた。藤田氏が岩礁破碎に関するやとりがあつたか、ただし

たのに対し、幹部らは「お答えすることができない」との答弁を繰り返して、質疑が7度中断する一幕があつた。

参院質疑で言及避ける

雄水産庁長官が集まり、安倍首相と面会していたとするもの。

面会2日後の同月10日に防衛省が岩礁破碎等許可の要否について水産庁に照会し、同月14日に、水産庁が申請は不要と回答。同日付で防衛省は真に同様の見解を示している。

定塚局長は、訴訟に発展するおそれのある法律問題について行政機関からの照会に対し、法律の見解

を述べる「予防司法」の役割を説明。「關係省庁との信頼関係が業務を行う上で重要」などと述べ、面会内容については言及を避けた。

佐藤長官も「今後の事務遂行に支障が出る」と述べ、答弁を控えた。

これに対し、藤田氏は「質問に答えていない」と繰り返し答弁を求め、7度質疑が中断した。